

租税教室(3年 社会科)

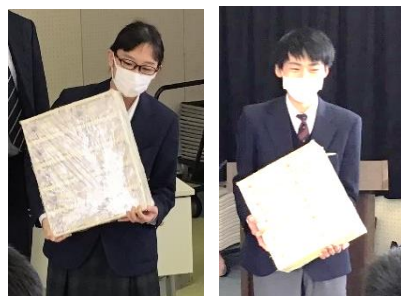
11月30日(木)、長崎税務署の税務広報聴官の方による租税教室を実施しました。

目的は税金の意義と役割を知り、納税の義務を果たすことの大切さを理解することです。生徒たちは、講義やDVD(『ご案内しますアナザワールド』)の視聴をとおして、税金の使われ方を知り、納税の義務を果たすことの大切さを学ぶ良い機会となりました。生徒たちの感想の一部を抜粋して紹介します。

- ・私たちが買い物のときに支払う税金が、いろんなことに役立つことを改めて知ることができて良かった。
- ・税金が50種類もあることを知って、とてもびっくりした。税金のおかげで学校に行くことができ、教科書などを無償でもらえることが分かった。税金がなくなると道路の整備や消防や警察を呼ぶのにもお金がかかること。税金はとても大切なので、社会人になったらちゃんと税金を納めようと思った。
- ・税金があることによって、私たちは安全に生活できていることを改めて学びました。今まではなんで税金があるのだろうと思ったけど、税金の大切さを知ったので、しっかり払おうと思いました。
- ・給料から引かれる税金は、それぞれにとても大切な役割があり、人々の暮らしと未来を守るためにあることが分かりました。
- ・税金の種類や使い道、なぜ納めないといけないのか、使い道をだれが決めているのかなど、たくさん知ることができた。卒業して働いたら税金をきちんと払っていこうと改めて思いました。
- ・小学校から高校までの12年間で一人当たり約1,200万円の税金が使われていると知り、税金の大切さが分かりました。
- ・税金は自分が生活をするうえで、人によっては嫌だと思ったり、いらないと思ったりする人がいると思うけど、もし、税金がなかったら私たちの生活に支障を及ぼすことが分かりました。



税金はどのように使われているのだろうか？税金がなくなったら…。税のない世界をDVDで視聴しました。



1億円レプリカ10kg体験
感想は、「意外に重い。」



「とん税は、どんな税ですか？」